



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 進学会ホールディングス  
 コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役COO (氏名) 松田 啓  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 平井 将浩

TEL 011-863-5557

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,436	54.5	755		727		729	
2022年3月期第2四半期	7,552	94.8	5,426		5,385		5,538	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 753百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 5,527百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	40.42	
2022年3月期第2四半期	293.22	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	36,925	12,467	33.8	698.51
2022年3月期	28,954	13,678	47.2	745.47

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 12,467百万円 2022年3月期 13,678百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400		970		930		930		51.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	20,031,000 株	2022年3月期	20,031,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,182,416 株	2022年3月期	1,126,226 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	18,038,244 株	2022年3月期2Q	18,889,938 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により経済活動において厳しい状況が続きました。

当社グループの主たる部門である教育関連業界におきましては、少子化や将来的な収入不安定等による個人消費の抑制など厳しい環境に直面しており、それらに対応できる施策が必要となっており、また、教育に関する情勢の変化に対応できるサービスの開発・質の向上が今後ますます求められていくものと認識しております。また、2022年初旬から新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の拡大を受け、感染拡大防止と経済活動の両立を図る中で、政府による各種政策が実施され、持ち直しの動きも見られましたが、北海道を含め新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の再拡大が懸念されており、いまだ先行きが不透明な状態が続いております。

当第2四半期の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導の全国展開やAIオンライン塾Go・KaKuの開講など売上増加施策に取り組んでまいりました。しかし、新年度生集客の最重要期である2022年1～3月に新型コロナウイルス感染症が拡大した影響、また夏の募集期である7月～8月にかけて新型コロナウイルス感染症の再拡大から同感染症防止のため自治体・政府からの自粛要請、また、同感染拡大防止に関連した学校の学級閉鎖、学年閉鎖、休校が見られたため新規生の集客において計画を下回る結果となりました。一方、資金運用事業であるSG総研においては、売上から利益重視に運用方法等を変更しております。結果、SG総研の売上高は、2,043百万円（前年は5,915百万円）となりました。

その結果、当第2四半期の売上高は、3,436百万円（前年は7,552百万円）、営業損失は株式市場の変動による子会社における有価証券の評価損の発生により755百万円（前年は5,426百万円の営業損失）、経常損失につきましては727百万円（前年は5,385百万円の経常損失）となりました。結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は729百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### イ. 教育関連事業

当第2四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受けておりますが、会場のスクラップ&ビルドを進めるとともに、映像配信サービスの充実、採算性の向上に取り組ましました。個別指導部門は全国展開にともない生徒数・売上高ともに前年を上回っておりますが、コロナ禍での受講率の伸び悩みから受講単価が予算を下回る状況で推移しました。今期においては、売上高は763百万円（前年同四半期比23.6%減）となり、93百万円のセグメント損失（前年同四半期は44百万円のセグメント利益）となりました。

なお教育関連事業の性質上、第2四半期連結会計期間以降に売上高・利益とも増加する傾向にあります。

#### ロ. スポーツ事業

道内4ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZipは、昨年より新規生の募集は増え回復の兆しが見えてきましたが、目標までの水準に届かず、売上高は182百万円（前年同四半期比2.7%減）となり、セグメント損失は3百万円（前年同四半期は15百万円のセグメント利益）となりました。

#### ハ. 賃貸事業

賃貸不動産や学習塾部門の教室の管理、清掃に関わる賃貸事業は、売上高は277百万円（前年同四半期比1.7%増）となり、セグメント利益は135百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

#### ニ. 資金運用事業

資金運用会社である株式会社SG総研の当第2四半期の売上高は2,043百万円（前年同四半期比65.4%減）となり、セグメント損失は604百万円（前年同四半期は5,439百万円のセグメント損失）となりました。

#### ホ. その他

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売などを含

んでいます。売上高は169百万円（前年同四半期比4.9%減）となり、セグメント利益は39百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25,157百万円となり、前連結会計年度末に比べて9,025百万円増加しました。これは主に未収入金が7,805百万円増加したことによるものです。固定資産は11,768百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,054百万円減少しました。これは主に投資有価証券が606百万円減少したことによるものです。この結果、総資産は36,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,971百万円増加しました。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、24,161百万円となり、前連結会計年度末に比べて9,188百万円増加しました。これは主に短期借入金が増加したことや、有価証券の決済日の関係で未払金が増加したことによるものです。固定負債を含めて負債合計は24,458百万円となり、前連結会計年度末に比べて9,181百万円増加しました。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、12,467百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,210百万円減少しました。この結果、自己資本比率は33.8%（前連結会計年度末は47.2%）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本日開示しました「第2四半期業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,801,170	4,324,165
受取手形及び営業未収入金	125,159	57,382
有価証券	1,134,545	2,919,353
商品及び製品	6,067	6,397
仕掛品	1,001	—
原材料及び貯蔵品	23,013	22,283
未収入金	9,802,068	17,607,574
その他	239,776	221,584
貸倒引当金	△1,265	△1,265
流動資産合計	16,131,536	25,157,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,920,477	13,738,835
減価償却累計額	△7,451,300	△7,537,742
建物及び構築物（純額）	6,469,176	6,201,093
機械装置及び運搬具	558,051	557,421
減価償却累計額	△541,379	△543,859
機械装置及び運搬具（純額）	16,672	13,561
土地	4,284,688	4,130,670
その他	943,925	939,666
減価償却累計額	△909,922	△907,870
その他（純額）	34,002	31,796
有形固定資産合計	10,804,540	10,377,121
無形固定資産		
その他	22,222	18,552
無形固定資産合計	22,222	18,552
投資その他の資産		
投資有価証券	1,480,301	873,552
繰延税金資産	2,532	—
敷金及び保証金	155,064	149,317
退職給付に係る資産	260,188	263,982
その他	98,368	85,959
投資その他の資産合計	1,996,455	1,372,812
固定資産合計	12,823,217	11,768,486
資産合計	28,954,754	36,925,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,784	49,468
短期借入金	5,856,047	5,926,082
未払金	8,661,111	17,731,457
未払法人税等	45,977	122,858
未払費用	75,277	59,158
前受金	167,367	260,891
その他	7,694	11,448
流動負債合計	14,973,261	24,161,365
固定負債		
繰延税金負債	72,083	70,197
役員退職慰労引当金	73,468	74,296
資産除去債務	114,246	111,288
預り敷金保証金	43,328	41,335
固定負債合計	303,127	297,118
負債合計	15,276,389	24,458,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	7,352,942	6,348,542
自己株式	△810,210	△992,114
株主資本合計	13,870,831	12,684,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△283,937	△304,121
退職給付に係る調整累計額	91,470	87,071
その他の包括利益累計額合計	△192,466	△217,049
純資産合計	13,678,364	12,467,478
負債純資産合計	28,954,754	36,925,962

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	7,552,933	3,436,786
売上原価	12,629,278	3,798,696
売上総損失(△)	△5,076,345	△361,909
販売費及び一般管理費	349,895	393,798
営業損失(△)	△5,426,240	△755,707
営業外収益		
受取利息	22,800	4,470
受取配当金	34,462	14,560
その他	22,653	12,665
営業外収益合計	79,916	31,696
営業外費用		
支払利息	15,081	1,893
為替差損	20,445	—
その他	4,089	1,300
営業外費用合計	39,616	3,193
経常損失(△)	△5,385,940	△727,204
特別利益		
固定資産売却益	—	74,325
投資有価証券売却益	92,801	310
投資有価証券償還益	—	158,760
役員退職慰労引当金戻入額	—	4,500
特別利益合計	92,801	237,895
特別損失		
固定資産除却損	4,606	310
投資有価証券売却損	202,332	132,498
減損損失	2,538	—
特別損失合計	209,477	132,808
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,502,616	△622,116
法人税等	36,368	107,054
四半期純損失(△)	△5,538,985	△729,171
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,538,985	△729,171



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△5,538,985	△729,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,546	△20,184
退職給付に係る調整額	△7,368	△4,398
その他の包括利益合計	11,178	△24,582
四半期包括利益	△5,527,806	△753,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,527,806	△753,753
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。